

カジノ・IR^{夢洲}につながる ベイエリア開発

さらに堺市の負担が

増額する!?

ホテル建設での収入は

約**1億円**と言っていたのに…未だに**0円**

建設されても約**3,800万円**に大きくダウン

日本共産党は、市有地でのホテル建設の規模の縮小やスケジュールの遅れを指摘してきました。また、ホテル事業者が地代を滞納(約5,100万円)していることを堺市が市民や議会に知らせていなかったことを明らかにしました。永藤市長が主張してきた固定資産税収入「約1億円」は、計画変更により完成しても「約3,800万円」にダウン。当初、2020年の夏に開業予定だったスケジュールは大幅に遅れているため、固定資産税収入は実際のところ「0円」です。

新たな公共整備や海上交通(舟運)に 堺市の公費投入の可能性あり!?

永藤市長は、ベイエリア開発について「公費をジャブジャブ使わず民間にやってもらう」旨の説明を繰り返してきました。しかし、ホテル事業者は新たな公共整備の必要性をのぞかせています。また、民間業者が海上交通を運営しても栈橋などの整備が別途必要です。その際にかかる追加費用について追及すると、堺市は否定しませんでした。

「住民合意」を重視するまちづくりに全力を!

堺市はベイエリアにポテンシャル(可能性)があると言いますが、カジノIR誘致頼みの金儲けが優先です。それよりも住民合意を重視し、海洋環境の改善に力を尽くすことが必要です。

このエリア
だけで

約**9億1,000万円**も計上!

2021年12月時点の建設予定地
未だに更地の状態のまま



対象地

共産党市議団が

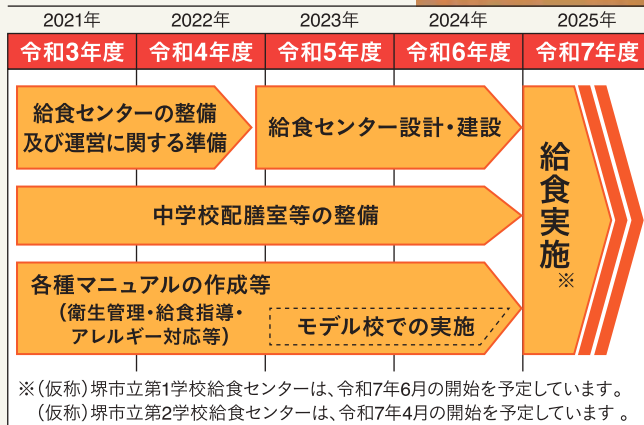
1988年から求めてきた みんなで食べる中学校給食が実現!(2025年度)

育ち盛りの中学生には、学校給食が絶対必要です。来年度、施設建設等の事業者を選定し、その後12月議会で認定の予定です。堺の中学校給食は、2つのセンターで24,000食。

安心安全第1です。パンの残留農薬について市民から心配の声が寄せられ、国産小麦や地元農産物の使用を求めました。アレルギー対策も必要です。

給食実施には栄養教諭の配置が重要ですが、国基準で堺市に配置すると、43校に6人の配置になります。これでは不十分。堺市独自で増員するべきです。

本会議で質疑する
いぬい恵美子議員



堺市教育委員会「堺市中学校給食改革実施計画」より

小・中学生を中心に、保護者、教職員、市民みんなの力で、より良い学校給食を実現しましょう!

お知らせ

女性の不安や悩み SNSで相談

生理用品の無償配布とあわせて実施されている「堺市女性サポート相談」。女性の困りごとをSNS、電話、メールなどで相談できます(2022年3月31日まで)。「電話や面接はハードルが高いけどSNSなら」と繋がる人が増えています。

詳細はこちら



SNS相談
アカウント

